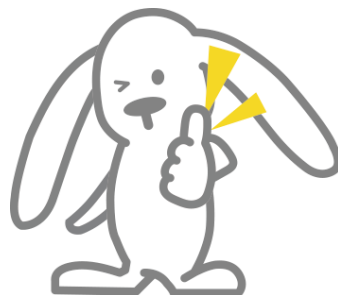


タカラコラボラホ
第1期TaCoLAB

宝塚市協働のまちづくり推進会議まとめ

宝塚市協働のまちづくり推進会議

(令和5年(2023年)11月30日～令和7年(2025年)11月29日)



1 会議の概要

(1) 設置経緯

宝塚市協働の指針に基づき、平成 25 年（2013 年）9 月 1 日に協働のまちづくり促進委員会（以下「促進委員会」という。）を設置し、協働を進めるための基盤となる仕組みを一定構築した。10 年目を迎える令和 5 年（2023 年）9 月 19 日をもって促進委員会を終了し、促進委員会のこれまでの取り組みや考え方を継承しつつ、さらなる協働の推進を図っていくため、令和 5 年 11 月 30 日より「協働のまちづくり推進会議」を設置した。

(2) 設置根拠

執行機関の附属機関の設置に関する条例

(3) 所掌事務

- ア 市長の諮問に応じ、協働のまちづくりの推進についての重要な事項を調査、審議し、答申する。
- イ 協働のまちづくりの推進に係る重要な事項について、必要に応じ市長に意見を述べる。

(4) 委員構成

知識経験者又は担当事務の遂行に適任と認められる者 8 人以内
公募による市民 2 人
計 10 人以内

(5) 委員任期

1 期 2 年。再任の場合は最大 10 年

(6) 設置期間

ア 第 1 期 令和 5 年（2023 年）11 月 30 日 ～ 令和 7 年（2025 年）11 月 29 日

2 会議開催実績

会議名	開催回数（作業班回数）	主な審議事項
	第 1 期	
協働のまちづくり推進会議	17 回（10 回）	本会議の愛称 市民への協働に関する意識啓発イベントの検討 つながりカフェ TaCoLAB の実施 協働の事例の収集・検証⇒事例集の更新
合計	17 回（10 回）	

※ 作業班：推進会議で審議を円滑に進めるため、事前に審議事項についての意見交換や資料の作成を行う会議体。審議事項によって必要に応じて設置し、有志の委員と事務局で構成される。

3 取組実績

主な取組実績については以下のとおり。

(1) 本会議の愛称の設定

ア 目的

正式名称の他に市民にとって親しみやすい会議体とするための工夫として、愛称を設定する。

イ 愛称

「^{タカラコラボ}TaCoLAB」（宝塚・Collaboration・Laboratory）に決定した。

(2) 市民への協働に関する意識啓発イベントの検討

ア 目的

(ア) 毎年実施していた「市民説明会」が、令和元年11月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できておらず、啓発の機会を再開する。

(イ) 「市民説明会」という名称・形態にこだわらず、市民が参加しやすい内容になるよう、委員と一緒に企画段階から検討する（開催時期も含めて検討）。

(ウ) 地域活動の担い手づくりにつながるテーマや内容で実施する。

イ 結果

(ア) 「仲間づくり・つながりづくり」につながるイベントの実施を検討する中で、課題として、担い手（プレイヤー）不足や「同じ境遇の人と繋がれる場所・気軽に集まって情報交換ができる場所・悩みや相談事を話せる場所・友達、一緒に活動する仲間がつかれる場所」このような場所が宝塚市にはないとの結論になり、イベントを開催するのではなく、気軽に集まれるカフェのような場（つながりカフェ TaCoLAB）を検討することとなった。

(3) つながりカフェ TaCoLAB の実施

ア 目的

地域活動に思いを持つ方や、既に活動している方など、色々な人が対話を通じて、つながりをつくり、担い手（プレイヤー）を発掘する。

イ 検討経過

(ア) カフェのようなゆったりした雰囲気、立場関係なく、テーマも決めず、最近考えていることや話したい・聞いてみたい事などについて、地域で様々な活動をしている方、地域活動に興味のある方などが繋がれる居場所として「つながりカフェ TaCoLAB」を設置した。

(イ) 令和7年1月より、委員、委員がゲストとして招いた知人および市職員によって、試験的に月1回実施し、同年7月開催からはチラシを作成し、市の公式LINEやXで参加者を広く募って実施した。その結果、実際に参加者同士でつながりも生まれた。

実施状況については、下表のとおり。

回	日 時	場所	参加人数 (うち市職員数)
1	令和7年1月30日(木) 10:00~12:00	ここおる1階	13人 (4人)
2	令和7年2月19日(水) 18:30~20:30	男女共同参画センター・エル 学習交流室	9人 (2人)
3	令和7年3月21日(金) 10:00~12:00	市立文化芸術センター アトリエ	13人 (2人)
4	令和7年4月22日(火) 10:00~12:00	ぶらざこむ1 フリースペース	8人 (2人)
5	令和7年5月22日(木) 11:30~13:30	市役所前広場	中止
6	令和7年6月27日(金) 10:30~12:00	市立文化芸術センター	7人 (4人)
7	令和7年7月25日(金) 18:00~19:30	アピア北3F レストスペース	11人 (3人)
8	令和7年8月21日(木) 13:00~14:30	まちかど農園 POSTo3F フリースペース	15人 (3人)
9	令和7年9月30日(火) 13:00~14:30	ピピア売布2階 フリースペース	8人 (3人)
10	令和7年10月23日(木) 18:30~20:00	ここおる1階	11人 (3人)
合計			95人

ウ 課題

(ア) 第1期では、試験的に色々な場所・時間帯で実施した。

第2期では、参加者アンケート等の結果を踏まえ、令和8年度以降の定期開催に向けて、開催場所・時間帯を絞り込んだ形で、引き続き試験的に実施し、その効果を検証したうえで、より適切な開催条件を整理する必要がある。また、効果指標（公募の数及びつながりの生まれた数等）についても検討していく必要がある。

(イ) つながりカフェの効果的な周知方法の検討。

(4) 協働の事例の収集・検証⇒事例集の更新

ア 目的

(ア) 協働の事例を収集し事例集の更新等を通して、新たな人材確保策や、担い手が減っていく中でも効果的に活動をする方法等、先進事例の周知・横展開につなげる。

(イ) 収集した事例の分析を通して、協働のマニュアル検証や、「宝塚市協働のまちづくり推進条例」

の検証につなげる。

イ 検討経過

(ア) 9つの事例候補のうち6つの事例に対して、委員がインタビュー、ライティング担当に分かれ事例集の更新を行った。残り3つの候補については、第2期に事例の更新を行う予定。
収集した事例は下表のとおりで、宝塚市ホームページに掲載した。

事例 No.	事業名（又は団体名）
1	第一地区ネットワーク会議 にこりたす1DAY
2	売布小学校区まちづくり協議会
3	コープさんと民設民営の地域のつとめ場づくり
4	宝塚西谷 栗園再生プロジェクト
5	兵庫県立伊丹西高等学校×高司小学校区まちづくり協議会
6	紙芝居サークル「ちょうちょ」

4 宝塚市協働のまちづくり推進会議第2期への申し送り

(1) 下記ア～エを第2期への申し送り事項とする。

申し送り事項を議論するうえで、前身の促進委員会からの引継ぎ事項である、「コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの育成・支援の推進※1」「市民活動・地域活動における有償・無償の考え方※2」を踏まえ検討する。

ア つながりカフェ TaCoLAB の開催頻度・開催場所・日時の検討

令和8年度以降の定期開催に向けた開催条件の整理及び、効果的な周知方法を検討する。

イ 協働の事例の収集・検証

第2期では残り3つの事例候補の更新を行い、収集した事例を分析することで、協働のマニュアルの検証や、「宝塚市協働のまちづくり推進条例」の検証につなげていく。

ウ 宝塚市協働のまちづくり推進条例の検証

本条例は令和3年4月1日に施行された条例であり、施行の日以後5年を超えない期間ごとに、条例の施行の状況を検証することを定めている。

エ 協働のマニュアルの検証

本マニュアルは協働の指針の考え方を基にして、実際の取り組みの段階ごとに気を付けるべきポイントなどを取りまとめたもので、3年ごとにマニュアル全体を検証し見直すことを定めており、まちづくり推進条例の検証とあわせて検証を行う。

※1 コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの育成・支援の推進

市民活動・地域活動のさらなる活性化を図るため、ビジネスの手法で地域課題や社会課題の解決を図る「コミュニティビジネス」や「ソーシャルビジネス」について、本市や他自治体における事例の研究を通して、育成・支援の在り方について検討する。また、令和4年10月に法制化した「労働者協同組合」等、協働の主体や動き方が多様化している中、地域課題や社会課題の解決にどのような形態が適しているのかを検討していく。

※2 市民活動・地域活動における有償・無償の考え方

地域課題や社会課題が複雑化・多様化している中、専門知識やスキルを持つ人材に報酬を払って活動を依頼することや、ビジネスの手法で課題解決を図ること等、市民活動・地域活動に「有償」で取り組む考え方が増えてきている。一方で、市民活動・地域活動は「無償」でのボランティア活動が基本という考え方も社会には浸透しており、同様の活動内容において、有償で活動する人と無償で活動する人が混在する場合も出てきている。多様な人が活動しやすい環境づくりのため、有償・無償の棲み分けや連携のあり方について検討する。

宝塚市協働のまちづくり推進会議（第1期）委員名簿

（任期：令和5年（2025年）11月30日～令和7年（2025年）11月29日）

	氏 名	所 属
知識経験者又は担任事務の遂行に適任と認められる者	田中 晃代 （会長）	近畿大学総合社会学部教授
	加藤 富三	まちづくり活動経験者
	遠座 俊明	まちづくり活動経験者
	永崎 正幸	宝塚市自治会連合会
	松村 孝三	宝塚市自治会ネットワーク会議
	龍見 奈津子	一般社団法人宝塚にしたに里山ラボ
	上田 健 （～R7.5.31） 平岩 伊佐子 （R7.6.1～）	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター
	前園 真由美 （～R6.4.18） 大関 可奈子 （R6.4.19～）	社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会 宝塚ボランティアプラザ zukavo
公募による市民	岡田 英里	市民公募委員
	橋之爪 鮎子	市民公募委員